



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 天界 1943, 23(260)

ISSUE DATE:

1943-01-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168561>

RIGHT:

天 界

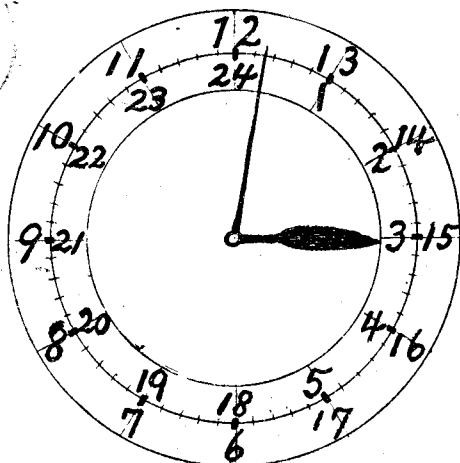
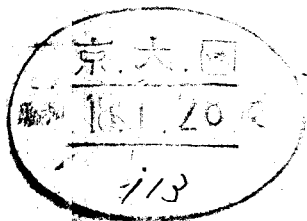
(第 23 卷)

第 2 6 0 號

昭和18年 第 2 號

24 時 制 の 時 計 の 文 字 盤

應募案 No. 5



(本誌第七四頁を見られよ)

(尾 道 松 本 義 一)

本部：田上天文臺 東 亞 天 文 協 會 事務局：滋賀縣 堅 田

1943年

一月と二月の天象

Heavens of Jan. & Feb.

神武紀元2603年初の空である。金星は日没後の西天にまだ低いが、光は漸増しつつあるは。水星は一月9日前後に宵天で極大離角となるが、臺灣以南でないと、観望に困難であらう。火星も曉天の東空に一寸顔を出したばかり、まだまだ観望の時機でない。

これ等に引きかへ、木星と土星とは對衝の前後に當り、輝かしい光を日没後の頭上に現してゐる。冬の美しい諸星座は、これ等の珍客によつて今年は一層の賑はひである。望遠鏡を持つてゐる人々は、是非この兩つの巨遊星の偉大なる姿を楽しみたい。木星は一月11日に對衝であるから、視直徑46''を超え、満月の如き丸々とした形を視野に見せてゐる。四つのガレリオ衛星の隠顯出沒も盡きない興味である。

土星は昨十二月初旬に對衝をしたばかり、地球に今尙ほ近い。殊に此の星の特有である輪は15年ぶり今年が最も幅の廣い形に現はれてゐる。従つて、星の全體から來る光度も、今年は稀に見る大きさである。この輪の背後に微光の恒星が掩蔽されることはないか?! こんな好機に恵まれれば、輪の構造を研究する鑢を握つたものである。

天王星は牛座に、冥王星は乙女座にある。位置は本誌前號の星圖を見られよ。冥王星は最大望遠鏡を要するから、一般のアマチュアには縁が無い。

月は一月6日に新月、同21日に満月である。二月は5日が新月であるが、この日は北海道で日蝕する。これは今年の舊曆正月朔である。次いで20日の満月の日に起る月蝕は部分蝕であつて、日本では見えない。

太陽は健實に毎年の歩みを續けてゐて、一月6日には小寒、12日には寶瓶宮に侵入して、大寒となり、次いで二月5日には立春、同19日に雙魚宮に入つて雨水の季節となる。

彗星界では、昨年十一月初めにオテルマ氏が發見したものが牛座の西部を逆行してゐて、地球にも近づいてゐるが、肉眼に見えるやうにはならない。一月初の光度9等級である。これのほか、今年再歸する星のうち、ネウイミン星が漸次近づきつつあるが、光度は14—15等級で、發見は未だ將來のことであらう(急報参照)。

とも座の新星は昨年末の本邦學界に於ける大收穫であつた。一時は零等級にも上つたが、年末に7等級となり、其の後も漸次減光してゐる。目下は小型の望遠鏡でないと充分な觀測は出來ないが、星圖や其他の消息については、急報を見られたい。

會員に關する報告

〔入 會〕	若原 治(大 阪)	小田 辰男(堺)	田村 弘(秋 田)
	岡部 政二(滋 賀)	赤阪 陽(東 京)	猪俣 康治(仙 臺)
	熊谷 猷(大 阪)	米田 敏治(奈 良)	早稻田中學物象班
	木下 寛武(西ノ宮)	鈴木 俊郎(大 阪)	山本 敏文(奈 良)
	加藤繁次郎(岡 山)	田中 昌博(大 阪)	脇田 清二(大 阪)
	松浦 幸夫(豊 中)	吐山 尙美(奈 良)	杉田 勉(廣 島)
	中島 信一(札 幌)	谷 三郎(大 阪)	高山 貢(京 都)
	山本 淳(仙 臺)	福崎雄太郎(神 戸)	矢萩 和巳(東 京)
	圓尾 正博(山 口)	村田 旭(山 口)	瓜生 和雄(東 京)
	尼子 昭夫(大 阪)	鈴木 久彌(大 阪)	
	〔觀測部入部〕	熊谷 猷(大 阪)	加藤繁次郎(岡 山)
		田中 昌博(大 阪)	
		松浦 幸夫(豊 中)	淺川 澄(東 京)
〔逝 去〕	矢萩 和巳(東 京)	圓尾 正博(山 口)	鈴木 俊郎(大 阪)
	鈴木 久彌(大 阪)	山本 敏夫(奈 良)	尼子 昭夫(大 阪)
	竹谷 實(兵 庫)		

〔逝 去〕 竹谷 實(兵 庫) (昭和15年入會)

(注意)：御移轉の節には直ちに(前住所をも並記して)御通知下さい。觀測部の方は其旨附記して下さい。

昭和17年分會費部費領收者芳名

會 費(年額)	細田 純夫(甲 府)	藤吉 泰男(久留米)	金谷 實(大 阪)
	野口登美雄(仙 臺)	小石久太郎(東 京)	
同 (一部)	若原 治(大 阪)	永井 泰山(廣 島)	田村 弘(秋 田)
	小林 義惠(東 京)	岡部 政二(大 津)	長岡 章(岡 山)
	米田 政治(奈 良)	早稻田中學物象班	木下 寛武(西ノ宮)
	鈴木 俊郎(大 阪)	加藤繁次郎(岡 山)	熊谷 猷(大 阪)
	松浦 幸夫(豊 中)	田中 昌博(大 阪)	山本 敏文(奈 良)
	吐山 尙美(奈 良)	林 憲亮(大 阪)	長谷川敏男(札 幌)
	中島 信一(札 幌)	山本 淳(仙 臺)	福崎雄太郎(神 戸)
	脇田 清三(大 阪)	七 高 造 士 館	村田 旭(山 口)
	尼子 昭夫(大 阪)		矢萩 和巳(東 京)
	部 費(年額)	金谷 實(大 阪)	小石久太郎(東 京)
		加藤繁次郎(岡 山)	田中 昌博(大 阪)
	山本 敏文(奈 良)	熊谷 猷(大 阪)	小林 義惠(東 京)
	淺川 澄(東 京)	尼子 昭夫(大 阪)	鈴木 俊郎(大 阪)

昭和18年分會費部費領收者芳名

會費(年額)	山形 武夫(大 阪)	蔡 章 猷(臺 北)	細田 純夫(甲 府)
	杉田 勉(廣 島)	森川 鉦二(東 京)	浦上 幸資(和歌山)
	薦田 一吉(宮 崎)	福崎雄太郎(神 戸)	木下 實二(宮 崎)
	増田 豊(東 京)	多田 幸男(東 京)	市瀬熊次郎(長 野)
	藤井 文三(長 野)	圓尾 正博(山 口)	前橋榮太郎(大 阪)
	藤原 文枝(岡 山)	鈴木 久彌(大 阪)	米井 信夫(東 京)
	麥林 璋久(西ノ宮)	竹内 時男(東 京)	梶川 勝(和歌山)
	明星商業觀測班	寺村 榮一(東 京)	水野 弘平(京 都)
	宮本 禎雄(和歌山)	府立一中(京 都)	北條 眞次(京 都)
	金谷 實(大 阪)	中鶴 秀夫(東 京)	
同 (一部)	岡部 政二(大 津)	米田 敏治(奈 良)	宮永 和吉(東 京)
南 由次郎(和歌山)	狐塚 泰治(大 阪)	高山 貢(京 都)	細野 貞(新 潟)
部費(年額)	山形 武夫(大 阪)	金谷 實(大 阪)	森川 鉦二(東 京)
木下 實二(宮 崎)	藤井 文三(長 野)	圓尾 正博(山 口)	前橋榮太郎(大 阪)
鈴木 久彌(大 阪)	明星商業觀測班	梶川 勝(和歌山)	浦上 幸資(和歌山)
米井 信夫(東 京)	宮本 禎雄(和歌山)		
同 (一部)	鈴木 俊郎(大 阪)		

(順序不同)

(領收通知に代ふ)

(1942—11—30締切)

本 號 要 目

表 紙 畫 : 24時制の時計の文字盤 No.5 (松本義一)

口 繪 : とも座新星のスペクトル (木邊成磨)

巻頭隨筆 : 中原君が新星發見のことなど 山 本 一 清 41

問 答 (4件) 44

宇 宙 の 年 齡 (3).....H. N. ラッセル 45

昭和十七年前半年の

太陽黑點相對數による一報告 (紀要79).....平 井 利 朗 50

暗 黒 より 黎 明 へ (2).....R.G.エイトケン 54

ネウイミン彗星の位置豫報.....G. ネウイミン 60

天 界 新 知 識 (2件).....62

新刊批評 : 「潮 汐」.....山 本 一 清 63

新十字星の發見.....長 谷 川 一 郎 64

觀測部月報 : 變星・流星・太陽・彗星・黃道光・掩蔽 65

標準天文用語表 (13) 72

た よ り 74

學曆1943年の天文年鑑の補訂表 76

たてぐみ : 羊 の 星 座 山 本 一 清 (391)

1943年一月と二月の天象 表紙第2頁

東亞天文協會

大正9年(1920年)創立, 昭和7年(1932年)改名

會長 山本一清
副會長 宮森作造
理事長 宮森作造
事務理事 中村覺夫
教育部長 高城武夫
報導部長 山本一清

小横孝二郎

觀測部長 木邊成麿

經理部長 宇野良雄

理事(無任所) 美田爲三

本部所在地 田上天文臺 滋賀縣栗太郡上田上村
事務局所在地 滋賀縣堅田局區內
經營する天文臺 倉敷天文臺 岡山縣倉敷市
大阪支部所在地 大阪市立電氣科學館プラネタリウム (大阪市四ツ橋)
臺灣支部所在地 臺北市公會堂內
黃道光觀測所 廣島縣沼隈郡瀬戸村

東亞天文協會觀測部

1. 流星課 (課長 和歌山縣有田郡金屋 小横孝二郎, 幹事 宇野良雄)
2. 彗星課 (課長 滋賀縣草津町大路井420 山本 進)
3. 變星課 (課長 木邊成麿, 幹事 小澤喜一)
4. 太陽課 (課長 缺, 幹事 靜岡縣志太郡吉永村吉永1768 大石辰次)
5. 黃道光課 (課長 田上天文臺 山本一清, 幹事 倉敷天文臺 本田 實)
6. 彗報課 (課長 山本一清, 幹事 神田壹雄)
7. 機械課 (課長 滋賀縣野洲郡中里村 木邊成麿)
8. 寫真課 (課長 大津市鹿間町 堀井政三)
9. 遊星面課 (課長 伊達英太郎, 幹事 佐伯恒夫, 木邊成麿)
火星班 (班長 兵庫縣川邊郡雲雀丘 伊達英太郎)
木星土星班 (班長 大阪市四ツ橋 電氣科學館 佐伯恒夫)
水星金星班 (班長 木邊成麿)
10. 掩蔽課 (課長 大阪市住吉區萬代東4の6 高城武夫)
11. 月面課 (課長 伊達英太郎)
12. 歷史研究課 (課長 兵庫縣武庫郡本山村岡本高石344 井本 進)

觀測部規定 (昭和6年11月22日制定)

- 第1條 本觀測部ハ東亞天文協會ノ目的ヲ達スル爲メノ一事業トシテ, 天體ノ觀測研究ヲ行フ。
- 第2條, 第3條, 第6條 (略)
- 第4條 東亞天文協會員ハ希望ニヨリ本觀測部員トナル事ガ出來ル。
- 第5條 部員ハ觀測上ノ必要ニヨリ課長ノ指導及ビ東亞天文速報(舊名ブレテン), 東亞天文協會急報並ニ種々ノ印刷物ノ配布ヲ受ケル。

天界 第260號

昭和17年12月28日印刷
昭和18年1月1日發行

Ⓔ(定價金40錢) 送料金1錢

編輯兼發行者 滋賀縣滋賀郡眞野村大字眞野513
印刷所 京都市上京區上樺木町千本東入
配給元 東京市神田區淡路町二丁目九番地

東亞天文協會 (代表者山本一清) (振替大阪56765)
日本出版文化協會第2種會員(第220038番)
眞美印刷所 橋本岩太郎〔電西陣3702〕
日本出版配給株式會社